

新聞書き方講座を受けて

新聞の書き方講座を受けて、三好さんのような新聞記者さんはすごいなと思いました。森永先生へのインタビューのときは、100と質問してメモしていて、とてもスムーズに新聞にまとめられました。大事なところを落としていなかったのかすごいなと思いました。インタビュー・ネタでは、特に、時間軸を意識したのです。「いつ」「どこで」「誰が」「何を」「なぜ」「どうするか」「どのように」「どれくらい」「現在」「過去」「未来」を入れて、新聞に書きたのです。分かりやすいようにレイアウトはメリハリ・バランスに気をつけたいです。見出して、読む人の興味を引くことができるように考えたいです。私は、保育園へトライやるに行くので、どんな作業をしているかや、大変さなどをインタビューで聞きたいです。母が、保育園のパートで働いているので、下調べの時に、少し保育園のことを聞いてみたいと思います。先輩のトライやるの新聞がとても見やすかったので、どんな風に書くか、参考にしたいと思います。トライやるで学んだことを1年生に知ってもらえるようにこの講座で教えていただいたことに注意して新聞にまとめたいです。

新聞を作ることは小学校のころから何度かやってきましたけど、今回のように実際に新聞を作っている方のお話を聞くことは始めてなので、始めて知ることがたくさんありました。とくに見出しの工夫や今までやっていたインタビューの仕方などを知ることができてとてもよかったです。インタビューの仕方はただどんなことを聞くかを決めてインタビューをしているのだと思っていたけど、聞き終わりに聞いたり、質問を事前に決めておくのがいいということを知りました。その他にも写真のとり方やそのとり方、文章の構成についても教えていただいたので、今回知ったことをしっかり活用して、新聞を作ろうと思いました。

新聞書き方講座を受けて

今まで、ある程度の楽片聞作りは知っていましたが、1つ

1つに意味があることが分かりました。

5/11は個人的には大七刀な事だなと思います。そして

言葉しく言葉明してくれていたので分かりやすかったです。

楽片聞(?)を何回か書いたことはありましたが、

こゝろに本格的に新聞を書いたことはないの

で、今回作る時は頑張りたいと思います。

楽片聞を作る時に大七刀なことに気をつけて

作りたいです。写真の時も気を付けてとり

たいです。

言葉も読んで、分かりやすいような楽片聞を作りたいと

思います。

私は新聞を読んだことがあるけど書き  
方まで気にして読んだことがなかったので色々  
な工夫がされていると知ってトライヤルウィーク  
の新聞を作るときに生かしたいです。これから  
はどんな工夫がされているかを探しながら  
新聞を読みたいですね。メモの取り方も聞いて、  
聞いたことは短くまとめて、分かりやすく書  
いたり、質問を3つ考えておいて、それを、当日  
に聞くなど新聞を作る前にも工夫がされて  
いると知ってびっくりしました。今回のトライヤル  
ウィークで、体験することはとても大事だと思っ  
けど相手の話を聞いて、しっかりメモすること  
も大切だと思いました。新聞を作るときにレ  
イアウトを大切だと思いました。色合いを考え  
て、相手に見やすく、分かりやすい新聞を  
作ることが一番重要だと思いました。大切な  
ことを書いていても見にくかったら、相手に伝  
わらないと思うので、考えながら新聞作りを取  
り組んで行きたいです。将来のためにも、今回学ん  
だことは生かせるようにがんばりたいです。

新聞の写真は、記念写真ではないから読み手に分かりやすい写真をとると良いということが分かりました。

また、中心に"どん"と物をとるのでなく中心から少しずらしたり、対角線に置いてとるなど写真のとりかたにも色々な工夫をしていることが分かりました。

取材のときのメモの取り方は、あらかじめ質問することを書いておいたり、内容が"ちゃ"ににならないように書き分けるようにする。(3つぐらい質問を考えておく)

見出しは内容にあったものにしてすぐに内容が分かるような見出しにする。

新聞は読みやすさを考えてレイアウトをする。

新聞書き方講座を受けて

今回は僕たちに新聞の書き方講座をし

ていただいてありがとうございました。

新聞のこうせいなんてあまり考えなかった

ことがあったのでしつかりと新聞はこうせ

いを考えてつくられているんだとしておとろま

た。今回おしえていただいたことをしつかり

と思いだしながら新聞を書いてつぎた

いけんする1年生たちにもしつかりとつたえ

が来るものをつくりたいな。今回は本当に

ありがとうございました。

新聞書き方講座を受けて

ぼくは、新聞の書き方講座を受けて、たくさん  
のことを学びました。ぼくはと  
くに文章の見出しや内容について  
すごいと思いました。理由は、読  
者が誤解をまねかないように見出し  
を誰でも見たらわかるようにしてい  
り、見出しが小さくても内容がしっか  
りしていれば、どんな事がわかる  
ようになっているからです。ぼくは、  
この二つの点を自分が作るトラ  
イやる。ウェブの新聞にいかせる  
ように思いたして元気で頑張って作りた  
いです。

新聞書き方講座を受けて

私はこの講演会を通して、どうやってみんなに読んで  
もらいやすい新聞が作れるかが分かりました。

神戸新聞の記者の方の説明がとても分かりやすく、  
ポイントごとに大事なことがまとめられていてとても  
勉強になりました。

途中、森永先生にインタビューをしてそれを休み  
時間の10分間と数分で記事を書いていてプロだな  
と思いました。

写真を撮る時のポイントも教えてもらってトライやるの  
時に生かしたいと思いました。

自分が思っていた写真を撮る方法と教えて  
もらった方法が全然違くてびっくりしました。

トライやる・ワークが終わったあとに書く新聞  
では、今回の新聞の書き方講座で学んだことを  
生かしてみんなに読んでもらいやすい最高の新聞  
を作りたいです。



まずは、コロナ禍、ウクライナ侵攻、相次ぐ災害などを  
受けて事業所のほうは大きなダメージをくらって大変な中、僕  
たちも受けてくれた事業所のほうにぜひ感謝したいと思  
う。

新聞をかき時、質問ある時は「5W1H」(何を、どこ、誰と、  
いつ、なぜ、どのように)を意識して書こうにするということが  
分かった。

また、他の人がぶら下ろうとしないのど 正確さはもちろん  
だけど、自分だけの豊かな(頭の語彙力)やインスピレーションを  
そのエッセンスにしたいということも分かった。

さらに、自分はこのトピックをウェブで仕事をしている人  
がどんな気持ちで仕事をしているかが気になっているので  
そのような面に着目して、質問をしよう。

新聞書き方講座を受けて

今回は新聞の作り方や、インタビューをするときには注意することや写真の撮り方について教えていただきありがとうございました。

この話を聞いて、今後トラヤでインタビューをしたり、新聞を創るときに工夫を考へてみようと思いました。小学校の頃は、新聞のことについて見出しを工夫したり文章を工夫したりすることはありませんでした。そして、今回の話を聞き、トラヤのことについての新聞を創るときは、5W1Hをつけたら実際の新聞をみて、その新聞がどのような言葉を使って工夫しているのかを読み取り新聞創りに活かしたいと思います。

インタビューでは、取材する場所をある程度インターネットで下調べをして、なるべく質問する数を減らした法でインタビューしたいと思っています。

新聞は今の時代あんまり読まれて  
 いないけど、それでもしっかりと毎日か  
 かれていて、真夜中に事件？というか  
 ニュースが飛び込んできたら、新聞  
 を少し編集したりして、つめこんで新  
 聞を出したりしていると言っていたので、  
 新聞記者はとても大変なんだなと  
 思いました。

森永先生へのインタビューも、カキコニ植  
 物の難しい名前もしっかり合っていて、  
 誤字も1文字とかしかなくて、可  
 いなと思いました。

しかも、その新聞を10分ちよっとで、作  
 っていました。それが可いなと思いました。  
 私は新聞を作るのが苦手だから、  
 今回来てくださった神戸新聞  
 の人が言っていたこと(アドバイス)  
 をしっかりとその新聞に活かせるこ  
 とができたらいいなと思いました。

新聞書き方講座を受けて

私は 今回の講座を受けて 新聞の書き方や人の心かたがたを  
下しました。今までに個々が新聞をつくらせてはありますが、内容を  
あまり意識してはなかったり、写真を撮るとなるから写真を撮るとは  
じめてなので、今回学んだことを生かして、記事をのびるようにし  
たいと思います。

トライやるワークの新聞は個人で、A4コピーや写真を掲載、たり  
記事を書いたりするので、他の人とちがうものにしてみました。と思  
います。私の行く事業所は、多くの中で一人なので、1年生に  
興味を持つような内容で、読みやすく、分かりやすいものをつ  
くるといいと思います。また、写真の撮り方も重要になるし、  
記事の内容に合う写真選びも大切なので、しっかりつひ  
と、いかにしていきなす。

新聞は、身近な物ですが、写真、記事や他の記事など、読者  
が読むようにして、内容をよく見出し、興味を引くように  
して言葉を使って書くことが大切です。A4のコピーなど  
も、記事の大きさなどをはじめてしりました。知らない  
こと、分かりやすく、簡潔に書くことが大切だと思います。  
これから今日学んだことを中心に、色々な記事をして、  
分かりやすく、興味を持つように、としたいと思います。

新聞書き方講座を受けて

私は、今日の新聞書き方講座を受けて、学んだ  
事や、頑張りたい事があります。まず学んだ事は  
インタビューするときには大切なメモの取り方などに  
質問するか決める事。原稿は、「いつどこで何を  
誰れが」などを入れると分かりやすく情報が  
読みとりやすくなるなど。おだしたみは、文字  
の色や写真を、話しの内容に  
あった場面のものを使ったりする事を今日の講  
座で学びました。なのでこの講座で学ん  
だ、インタビューの手帳や原稿の書き方、新聞の見  
たみ、今まで小学校ではとりあえず見やすく  
工夫する事はかりしてただ、今日学んだ事を  
出来るだけ全部を使用できるように頑張りたい  
です。ただ、まず私は人と話すのが苦手  
なのでインタビューを一番頑張りたい原稿  
を書けるようにしたいと思います。

僕が、新聞の書き方講座を受けて大事だな  
と思ったことは主に3つあります。

1つ目はメモのとり方です。メモはスピード  
勝負の中にしっかりと重要なことをおさえな  
いといけないうのがよく分かり、ここ  
がぬけてしまうといけないなと思いました。

2つ目は見出しです。まずは見てみたい、読  
んでみたいという興味をさそふことが大事な  
んだと思いました。なので僕が新聞をつくるとき  
は見出しで良い印象をあたえて相手をひきよ  
せれるようにしたいです。

3つ目は新聞の文字を書くときの工夫です。文が長す  
ぎると新聞を読んでいる人は文字をずっと目で読んで  
いないといけません。なので僕は文が長すぎ  
てつかれないようにしっかりとところどころで文を  
区切って分かりやすく読んでもらえるようにした  
いです。

このような学んだことをしっかりと使いこなし  
て、すばらしい新聞をつくりたいです。

新聞書き方講座を受けて

僕は新聞の書き方講座を受けて  
新聞を書くにはいろいろな工夫がいる  
のだとわかった。その中でも、  
また、いろいろ写真はいろいろな  
角度からとって、という写真の  
とり方、三角形とかになるめ  
たてたり、いろいろな写真の  
とりかたがわかりました。また、  
その内容にあわせて文字のフォントの  
形や色を変えたり、大きさより見やす  
くしたりしました。そして僕が一番大事だと思  
ったことは、その内容をより詳しく  
書くということだと思います。  
この講座のおかげで僕は新聞の書き方  
はいろいろな工夫が必要なことだと  
知りました。  
このことをきっかけにトライやる・ウィークでの  
新聞書き方講座を受講したいと思います。

新聞書き方講座を受けて

今回は、新聞の書き方について教えて

いただきありがとうございました。

今回、教えていただいたことを参考に  
して、新聞を書こうと思います。

事業所の方々から話を聞いて、しっカリ

メモして、他の人よりも良い新聞を

つくりたいです。

こういうメモをとって新聞にすると、う

体験が初めてなので<sup>緊張</sup>するがもし

れな<sup>い</sup>ければ、質問をしっカリして

しっカリメモして、教えてもらったことを

生かして新聞をつくりたいです。



新聞書き方講座を受けて

新聞書き方講座を受けて思、たことは新聞、て見出し  
とか大事なのがよくわかりました。私は新聞をあまり読  
んだことはないけど、きょう見を出すどりよくなど書いてすごいと  
思いました。トライやるウークのときの新聞はいろんな  
人におかりやすく、いろんな人にきょうみをもってもら  
えるようにしたいと思いました。新聞を書くだけでは  
なく、インタビュー、しつもんとかをするときも、何を  
考えずにいくのではなく何をしつもんするかをき  
に考えておくことが大事だとわかりました。たがしつも  
んして、メモするだけではなく、相手の人にさりかくに  
んをしてもらっていいのが大事かなとおかりました。  
自分は小学生のときに新聞を書いたことはあ  
るけど、書き方がぜんぜんわからなくて、そのレ  
ベルまでできるまで、けっこう時間がかかった  
けど、この新聞の書き方講座を受けて、すご  
くおかりやすいせつめいをうけたのでとまどう  
ことなく、だれかにたすけをもとめることもなくか  
けようです。

小学校のときは、なんとなく、こんな感じというような作り方だったけど、しっかり、ここにこの記事、写真の置く場所や撮り方にもコツがあるのかなと思いました。ヘソがカタなと、名前があることは知らなくて、聞いたときはまるで、人体のようだなと思いました。読みやすくするための工夫がたくさんあることを知りました。インタビューの仕方にも方法があることを知って、とても勉強になりました。私を話をもとめて話すのが苦手なもので、よく意識してインタビューさせてもらいたいです。新聞は横書きの記事を入れてもいいと気づいたので、工夫していきたいです。今まで縦に書いていたし、縦のイメージしかなかったので少し驚きました。写真の構図にもいろいろあり、それを意識するだけで一気に印象が変わり、すごいなと思いました。普段写真をとって、良い構図が分からなくてあまりきれいな写真がとれなかったけど、新聞だけではなく、普段写真を撮るときにも活かしたいと思いました。教えていただいたことを意識して、分かりやすくまとめて新聞を書きたいです。

この度は「説明ありがとう」です。  
 新聞記者からの説明もWTHを意識し  
 てトライ・やる・ワークでは質問の仕方  
 Xモの取るたなど「を聞くこと」に気お  
 つけます。

太く11のペンで書いて「11」など  
 はつかわないうです。写真では三角構図  
 など「を意識して取ります。事前に質問を  
 3つほど「考えて質問します。7:2を意識し  
 ます。見出しを大きくく書いて相手につ  
 たわるようにしてそれ意外の文字もあ  
 きり書くようにします。

（まはマクドナルドに行くので、マクドナ  
 ルドについての質問をし、Xモをし、Xモ取  
 り、1年生3年生、先生にと分かるよ  
 うに自分がした事を行ってない人が分か  
 るように「者」11が「整」かくに新聞を  
 書いて11こうと思っっています。

私は新聞は文字が<sup>多く</sup>読んで<sup>い</sup>とか新聞  
に<sup>対</sup>してマイナスなイメージを持っていました。  
今まで学校で新聞を書いてたとき見出しなんか  
いらんや<sup>と</sup>か思っていました。が<sup>今</sup>この  
講座で見出しが<sup>い</sup>と<sup>ど</sup>なるか<sup>と</sup>いのを  
見たときに<sup>見出し</sup>って大切な<sup>ん</sup>かと思いました。  
それと今までは見出しは他より大きく書いて  
しか<sup>と</sup>で<sup>か</sup>こ<sup>を</sup>た<sup>け</sup>て<sup>し</sup>た<sup>か</sup>濃<sup>く</sup>したり  
太<sup>く</sup>したり<sup>す</sup>ること<sup>で</sup>見<sup>や</sup>す<sup>い</sup>し<sup>パ</sup>ツ<sup>と</sup>見<sup>た</sup>とき<sup>の</sup>  
インパクトが<sup>い</sup>と<sup>も</sup>良<sup>く</sup>なる<sup>ん</sup>か<sup>な</sup>と  
思いました。私は新聞をか<sup>い</sup>と<sup>ま</sup>に一番上  
に全体の見出し半分に<sup>分</sup>けて上を一番か<sup>ま</sup>た<sup>い</sup>こと  
下を何個かに<sup>分</sup>けてか<sup>い</sup>と<sup>い</sup>う風<sup>に</sup>して<sup>ま</sup>ん  
んですけど、半分<sup>じ</sup>ゃ<sup>な</sup>と<sup>も</sup>上<sup>の</sup>方<sup>が</sup>大<sup>き</sup>く<sup>分</sup>け<sup>な</sup>り  
して<sup>い</sup>い<sup>こ</sup>と<sup>も</sup>上<sup>を</sup>2<sup>こ</sup>に<sup>分</sup>けて<sup>か</sup>い<sup>な</sup>り<sup>し</sup>て  
いいことを知<sup>り</sup>ま<sup>し</sup>た。物<sup>に</sup>よ<sup>っ</sup>ては  
写真<sup>を</sup>付<sup>け</sup>、<sup>分</sup>か<sup>り</sup>か<sup>ま</sup>し<sup>た</sup>り、字<sup>体</sup>を<sup>変</sup>え<sup>て</sup>  
カ<sup>ン</sup>リ<sup>エ</sup>夫<sup>を</sup>し<sup>て</sup>い<sup>か</sup>な<sup>い</sup>と<sup>な</sup>ど思<sup>い</sup>ま<sup>し</sup>た。

私が今回の講座で一番印象に残ったのは、  
 お手本で見せてもらった先生へのインタビューです。  
 理由は、質問の内容が上手で早かったからです。その  
 後、10分だけでもう記事をつくらせていたのがすごい  
 と思いました。<sup>はな</sup>慣れ、新聞をつくるのが簡単になっ  
 たのかなと思っていたけど、「誤字脱字がある」と信頼が  
 無くなってほう」と言っていて、長い間やっているもちゃんと  
 気をつけよう意識している事があるのを知りました。  
 私は国語が苦手なので、文を書くのも話を  
 まとめるのも苦手です。今回の講座で、おらおら  
 話しているのがカッコいいと思ったし、<sup>国語</sup>大事だな  
 と改めて思いました。「国語を特別<sup>勉強</sup>」のではなく、  
 毎回のテストを完へまに少しづつでも国語力を  
 上げればたっいいいかなと思います。また、本を読むと  
 文章を理解するのが得意になると聞いた事がある  
 ので、ジャンルが偏らないようにいろいろな  
 本を読んでいきたいです。

僕はこの新聞書き方講座を受けて、  
とてもいろいろなことに注目して、  
いろいろにかつ、客観的に新聞が書い  
ているんだと分かりました。それはど  
ういうことかという、例えば「写真  
を記事にのせるときに、どの写真  
を選ぶか、これが一番記事の  
テーマに合わせて、一目で写真  
を見ただけで納得力のある写真は  
これがよい、このような「写真を  
選ぶのせるだけでもたかさんの  
考えや思いなどが込められている  
ということ」です。最初僕はそこまで  
分かりやすく新聞を書こうとは思  
ってなかったけど、少しでも工夫  
をすることで、読者が分かりやす  
く、納得のいく記事になるんだと分  
かり、これから新聞を書く時は、もっと  
工夫を入れて「分かりやすさ」を重視して  
書いていこうと思います。

新聞書き方講座を受けて

今日新聞講座を聞いて新聞にはたくさんの工夫がされているのが分かりました。インタビュー、写

真の撮りかた、メモのとりかたはです。

例えば、インタビューだと質問は3つくらいで、自分は知らなくても、知っているフリをし、広めていく。

質問で、何を聞こうとして、考えるよりも、相手の話を聞いて考える。

写真の撮りかたは、撮りたいものを、中に置いて撮るのではなく、逆三角形にして撮ったり、直線が

交わるように置いて撮ることです。

メモのとりかたは、後から、自分が読んでても分かるように、短く書くことです。

私は、トライやワークでは、この3つを参考にしたりです。理由は、質問を何個したらいいの分か

らなかつたり、メモもとるこつがわからなかつたりするからです。でも、ここからは教えてもらったこと

に、気をつけて、したいです。普段から、あまり写真を撮ったりしないので、写真のいい撮り

かたが、わからなかつたりけど、逆三角形にして、撮るものを、中ではなく、はしのほうにして、いろんな

角度から、速写して、撮るこつが、わかつたりからです。

教えてもらった中で、一番気をつけたいことは、みだしです。みだしで、新聞を読む人が読

みたいと思うみだしなみをつくりたいです。新聞の内容で、一番伝えたいことを、短くまとめ

したいです。



新聞、という身近なものがどのような工夫がされているか、取材はどのようにするかなど知らなかったことがとても多かったです。取材をするときは、ただ質問を考えて、考えた質問を聞くだけだと思っていたけれど、細かいところまで注意していることを聞きました。例えば、基本の5W1Hや質問は3つほど考えて、リサーチするということ。段取りを決めすぎてはいけないこと。段取りは、細かく決めていると思っていたので、驚きました。また、新聞の書き方も教えていただきました。新聞を書くときは、主題(テーマ)から想像できる写真を選ぶことや、文章を書くときは、具対的に、インタビューした人が伝えたいことをしっかり自分の中で分かってから新聞にするということが一番大事だと感じました。

これらのことを、トライアルワークの新聞づくりにいかして、よい記事になるよう、頑張りたいです。



新聞書き方講座を受けて

僕は、書き方講座と入った物事を知り、  
読書が興味をもつ写真のとり方やインタビュー  
の上手なやり方など色々知れた。

この講でおとろいたことは、写真をとる時メイン  
のものを真中におかない方がよいということです。  
あと、インタビューをさつえいする時は、インタビューされ  
る人のよこにインタビューする人がすわるというよくテ  
レビで見るようなことまでくわしくおしえてくれまし  
た。

トラやるワークの時に今回おしえてくれた、写真の  
とり方、インタビューの手、新聞書き方のなどをよく使いた  
いです。

新聞書き方講座を受けて

僕は今日の講座を受けて、読者の目をひきつけるような新聞を書こうと思いました。

そのために、トライやるのときに情報収集をしっかりと、新聞を書くときは内容にあっているような写真にして、見出しも普通なものじゃなくてみんながびっくりするような見出しを書いて、注目されるような新聞を書きたいと思いました。

新聞書き方講座を受けて

僕は書道講座を受けて、字真のとりかたについておどろきました。なぜなら今まで主人公は字真をとるときに真ん中に置いていたからです。目立たせたい物をあえて真ん中より上とか下に置くことにより目立つたて考えたこともなかったです。

それとSW1Hは前から知っていたけど、新聞にも使われているとは知らなかったから、また新聞を書くときにはそれを意識して書きたいです。

新聞書き方講座を受けて

インタビューをするときは話す、質問する  
だけでなく相手の話をちゃんと聞ける  
聞き上手になることが大切だと分かりま  
した。また、新聞書き方講座を受けて、  
最後まであきらめず取材を続けるといっ  
ていたのがすごいなと思いました。

新聞を書くときは、話の大まかな内  
容が見てとれる見出しとその新聞の  
内容に合った写真を撮り、選ぶことも重  
要なことだと知りました。写真をどこに  
おくかも考えないといけなし色々  
大変だと思いました。

私が自分でトライやる・ワークについて  
新聞をまとめるときは重要な部分を  
簡潔にまとめた見出しと内容が想像  
できる写真、写真の配置などもよく考  
えて見やすい新聞をつくりたいと思  
いました。